

速水格先生のご逝去を悼んで

遠藤 一佳 (地球惑星科学専攻 教授)

本学名誉教授、速水^{いたる}格先生は2013年5月27日、肺癌のため享年79歳で逝去されました。先生は1956年に本学理学部地学科地質学鉱物学課程を卒業され、本学博士課程を修了後、九州大学助手を経て、1973年に本学総合研究資料館(現博物館)助教授に着任されました。1984年からは本学理学部教授として地質学第4講座(古生物学講座)を主宰されました。化石に「生命を吹き込む」ための革新的ロジックをいくつも開発されたいっぽうで、ヒヨクガイ類や海底洞窟の二枚貝類に関する緻密で浩瀚なモノグラフを物されるといふ、演繹と帰納を兼ねそろえた圧倒的な業績で、自然史科

学の発展と日本における進化古生物学の確立に大きく貢献されました。「カクさん」として親しまれ、若い頃は論文を量産する様子から、速く見て書く「ハヤミカク」とよばれていた、とも聞いています。朝から夜遅くまで研究に没頭されていたお姿が目には焼き付いていますが、「3M」などどうそぶかれて、趣味としても集めておられたモラスカ(軟体動物)、マラー、そしてマージャンにひとかたならぬ愛情を注がれていたことも、懐かしい気持ちとともに思い出されます。本年1月に先生を囲んで横浜中華街でお会いできることを門下生一同楽しみにしておりました。そのわずか2週間前に病に倒



■ 故・速水格先生

られ、これまでのご指導への感謝の気持ちをお伝えできなかったことは、返す返す悔やまれます。謹んでご冥福をお祈りいたします。

東京大学大学院理学系研究科・博士学位取得者一覧

(※)は原著が英文(和訳した題名を掲載)

種別	専攻	申請者名	論文題目
2013年4月22日付学位授与者(4名)			
論博	天文	白井 文彦	「あかり」衛星による小惑星の中間赤外線サーベイ(※)
課程	地惑	横尾 直樹	生体鉱化作用における非晶質炭酸カルシウム(ACC)の研究(※)
課程	生化	中村 貴紀	ストレス応答MAPK経路及びp53によるPLK4活性と中心体複製の制御機構
課程	生科	松尾 萌	マウス <i>Ktu</i> 変異体を用いた繊毛の配向形成における繊毛の運動性の役割の解析(※)
2013年4月30日付学位授与者(2名)			
課程	化学	南 皓輔	水溶性フラレーンを用いた薬剤およびsiRNAのin vitro, in vivo輸送(※)
課程	生化	青井 勇樹	分裂酵母の減数分裂を終了させるための細胞周期制御
2013年5月20日付学位授与者(2名)			
課程	生化	高場 啓之	無顎類メタウナギにおける抗原受容体の負の選択と免疫寛容成立機構の解明
課程	生科	崔 勝媛	植物細胞のエンドサイトーシスにおけるトランスゴルジ網とRAB11ファミリーの機能の研究(※)

人事異動報告

異動年月日	所属	職名	氏名	異動事項	備考
2013.5.31	強光子場	准教授	畑中 耕治	退職	
2013.6.1	地惑	教授	升本 順夫	採用	独立行政法人海洋研究開発機構・プログラムディレクターから
2013.7.1	総務	専門員(総務企画担当)	金田 佳宏	任命	東京工業大学評価・広報課基金室事業運営グループ長から
2013.7.1	経理	専門職員(調達業務担当)	荻野 久憲	昇任	大気海洋研究所経理・調達チーム係長から

東京大学理学部オープンキャンパス 2013 は 2 日間開催

広報委員会

毎年、ご好評をいただいております理学部オープンキャンパスは、より多くの方が参加できるよう、今年は企画内容がさらに充実・拡大されて2日間にわたり開催されます。

おもに高校生を対象として、世界のトップで理学の研究に取り組む教員や理学部で活躍する先輩たちによる世界最先端の研究内容に関する講演が行われます。また、研究成果の展示や研究室見学などが多数にわたり企画されております。多くの方々から理学部の活動と魅力を共有することができるよう願っております。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

【日時】 2013年8月7日(水) 13:00～16:30 (プレオープン・半日開催)

8日(木) 10:00～16:30 (メイン開催日・全日開催)

【場所】 東京大学本郷キャンパス 理学部1号館 (理学部受付)

【参加】 事前登録なしでどなたでも参加できます。

当日は、理学部1号館の受付までお越しください。(注: 東大本部で事前登録をした方は東大本部の受付にお越しください。)

詳細につきましては (<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/oc2013/>) をご覧ください。



■ オープンキャンパス 2012の様子

あとがき

前号から新連載として始まった理学の現場ですが、今回は南極で今回は田んぼとスパコンです。今後もバリエーション豊かな現場の雰囲気をお届けできるよう努めてまいります。また、理学エッセイが始まり1年あまり経過しました。理学エッセイの編集に携わり気づいた点は、

本研究科には筆達者な方からおもしろいネタをおもちの方までたくさんおられる(らしい)ということです。今回の理学エッセイも、試験内容が大きく変更される予定の推薦入学にも関わり、かつ日本の教育体制についても考えられる興味深い内容が紹介されていま

すので、今後も執筆者の自薦他薦をお待ちしております。最後になりましたが、夏の恒例イベントであるオープンキャンパスは2日間にわたって開催されます。厳しい暑さにも負けず、大いに盛り上がることを願っております。

福村 知昭 (化学専攻 准教授)

東京大学理学系研究科・理学部ニュース 第45巻2号 ISSN 2187-3070

発行日: 2013年7月20日

発行: 東京大学大学院理学系研究科・理学部

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

編集: 理学系研究科広報委員会所属 広報誌編集委員会

rigaku-news@adm.s.u-tokyo.ac.jp

横山 央明 (地球惑星科学専攻, 編集委員長)

石田 貴文 (生物科学専攻)

對比地孝亘 (地球惑星科学専攻)

福村 知昭 (化学専攻)

牧島 一夫 (物理学専攻)

横山 広美 (広報室)

國定 聡子 (総務チーム)

宇根 真 (情報システムチーム)

武田加奈子 (広報室)

印刷: 三鈴印刷株式会社

本ニュースはインターネットでもご覧になれます。

東京大学 理学部ニュース

検索

